

「商業高校だけの熱い世界」をお見せします！

平成28年8月31日（水）

茨城県立鬼怒商業高等学校 教頭 宇都木 直之

教頭便り No 5

参加した生徒たち

昨日は、台風十号が来るということで、昨年の悪夢（9月10日の校舎水没）がチラッと頭をかすめたりしましたが、今日は朝から青空です。夏休みも今日が最終日。全国の児童・生徒や学生が皆憂うつな気持ちと戦っていることでしょう。昨年も書きましたが、気分は気分として目の前のことにちょろっと手を出して（まずは上体だけ起こしてみる、机の前に座ってみる、本を出してみる、ペンを握って文を写してみる等）みると、気分もいつの間にか変わっていきたりするものです。実は私もその口（クチ）です。



発表の様子（茨城新聞）

さて、皆さん！鬼怒商には、憂うつな気分どころかこの夏大いに燃えて挑戦した生徒たちがいます。商業高校には「**県高校生徒商業研究発表大会**」といって、自分たちで定めた課題や仮説を基に商品の開発や販売の研究等を行い、その成果を発表する全国規模の大会があります。8月26日（金）に水戸で茨城県予選が行われました。研究テーマは「**鬼怒商（商業高校）の魅力を発信する！（鬼怒商復活PR作戦）**」です。研究は次のように進みました。



事務長先生にインタビューしての調査

- ① 鬼怒商の水害の**実態調査**を行い「鬼怒商復活PR」の原動力とする
- ② **復興のシンボル**として、鬼怒商オリジナルキャラクターの「KCレンジャー・しょうくん」をデザインした商品の開発に取り掛かる。
- ③ 「しょうくん」の顔の焼き印を押した「**鬼パン**」の共同開発をパン屋さんと試みました。



配付した資料の表紙



- ④ 「**鬼パン**」用オリジナルシールを作成・添付し完成しました。

（「鬼パン」はパン屋さんの事業形態の変更により商品化ができませんでした）



完成品です



これが焼印です

販売の様子

- ⑤ 次の一手はオリジナルキャラクターの「**LINEスタンプ**」だ。

パソコンでの染色作業



積極的にSNSで宣伝しました

商品化に成功！ ラインショップで売ってるよ！